

SDGsって なんだろう？



SDGsとは「Sustainable Development Goals」の頭文字を取ったものであり、日本語では「持続可能な開発目標」といいます。世界で広がる貧困・格差・地球環境の危機を克服し「持続可能な社会・経済・環境」を目指す世界共通の目標です。

2015年に国連で開催された「持続可能な開発サミット」で日本も賛同し、国連加盟国193カ国の首脳が全会一致で決定となりました。

2030年という達成期限を設け、「誰一人取り残さない」という理念のもと、17のゴールとそれを達成するための具体的な169のターゲットで構成され、すべての国が取り組むことを約束しています。

SDGsの中でジェンダー平等はとても重要なテーマです！

1 SDGs全体の「目的」として

「すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等とすべての女性エンパワーメントを達成することを目指す」⇒ジェンダー平等の実現は、SDGs全体の目的です。

2 17のゴールをすべて実現するための「手段」として

「ジェンダー平等の実現と女性のエンパワーメントは、すべての目標とターゲットの進展に極めて重要な貢献をするものである」⇒17のゴールのすべてにおいて、女性と男性が平等に恩恵を受けるためにはどうすれば良いかを必ず考慮しなければなりません。

3 一つの独立した「ゴール」として

性別による差別を無くし、すべての女性と男性が対等に責任や権利や機会を分かち合える社会を作ること、女性が自分のことを自分で決めながら生きる力を付けられるようにすることを目標としています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



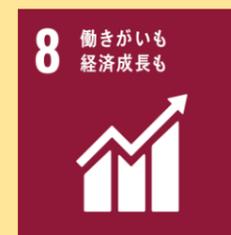
SDGsのゴールとジェンダー平等の関わりを知ろう！

ジェンダー平等を実現しよう！

17の目標のうち「5 ジェンダー平等を実現しよう」は、ジェンダー平等を達成し、すべての女性・少女のエンパワーメントを図るというものです。ジェンダー平等とは、性別に関わらず平等に責任や権利や機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めていくことを意味しています。



若者や障がいのある方を含むすべての女性と男性にとって、働きがいのある仕事や、同じ仕事には同じ賃金が与えられるようにします。



性と生殖に関する保健サービスをすべての人が利用できるようにします。



すべての女の子と男の子が平等に無償で質の高い教育を、高校まで受けることができるようにします。



すべての暴力と暴力に関連する死亡率を大幅に減少させます。



日本のジェンダー平等はどうなっているの？

世界経済フォーラムが2021年に発表した男女の格差を比べたジェンダーギャップ指数によると、日本は156カ国中120位であり、先進国の中で最低レベルになっています。中でも政治部門は147位と非常に低い状況です。

ジェンダー平等社会を実現することは、日本のみならず世界的な課題です。持続可能な社会を維持する為には、一人ひとりが自覚的に取り組んでいかなければなりません。皆さんも協力して平和で平等な社会の実現を目指しましょう。



椋山学園大学人間関係学部教授(東郷町男女共同参画審議会副会長)
吉田 あけみ委員